

組 織, 情 報, そ の 他

(1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革にともない、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪管
林局内の試験調査部門を編成がえのうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 場

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ同時に桃山研究室を設置し
た
- 昭和31. 3 庁舎、研究室を新築、移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林、保護の2部）
 〃 防災研究室を岡山試験地から移設
- 昭和51.11 庁舎、研究室（昭和31.3新築のもの）を改築

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源函養試験地として設置
- 昭和13. 1 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

(2) 土地および施設

1. 土 地

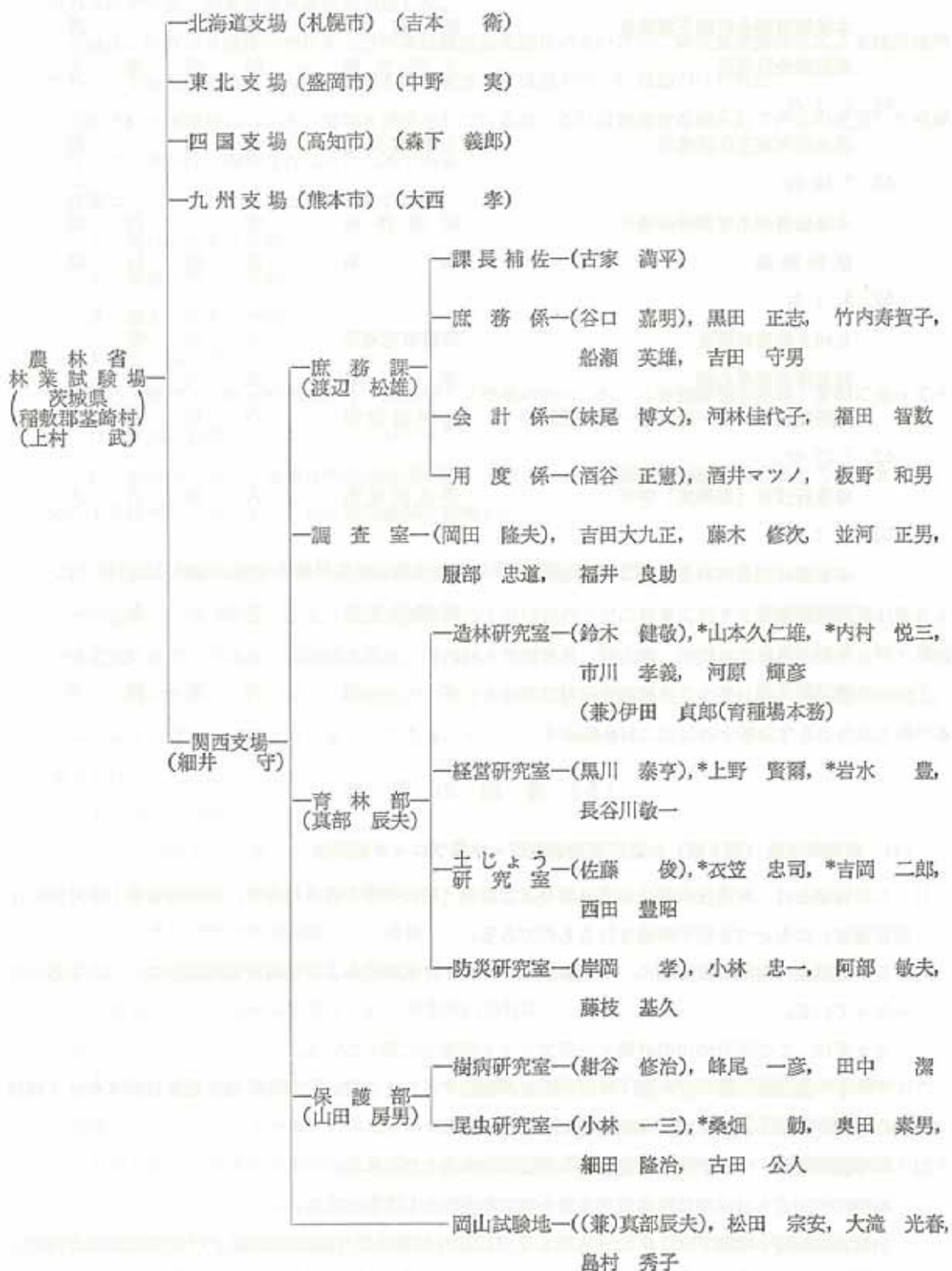
1. 庁 舎 敷 地

| | 関 西 支 場 | 岡 山 試 験 地 |
|----------------|---------|-----------|
| 庁舎および付属敷 | 11,539㎡ | 1,999㎡ |
| 苗 畑 | 13,270 | 4,264 |
| 樹 木 園 | 7,862 | |
| 見本林、実験林 | 27,998 | 73,888 |
| 計 | 60,669 | 80,151 |
| 2. 宿 舎 敷 地 | 9,373 | 915 |
| 3. 島 津 試 験 林 | 7,045 | — |
| 4. 宇 治 見 試 験 林 | 3,812 | — |
| 計 | 80,899 | 81,066 |

| 2. 主な施設 | | | | | |
|------------|-----|----------|--|----|--------|
| 庁舎 | 5棟 | 2,631.6㎡ | | 1棟 | 347.5㎡ |
| 内訳 | | | | | |
| 研究室(新館) | | 1,507.1 | | | |
| 〃(別棟) | | 628.6 | | | |
| 会議室 | | 166.9 | | | |
| 機械室 | | 140.0 | | | |
| 試料室 | | 189.0 | | | |
| 温室 | 1棟 | 54.5 | | | 0 |
| ガラス室 | 1〃 | 61.6 | | | 0 |
| 隔離温室 | 1〃 | 51.3 | | | 0 |
| 殺菌培養室 | 1〃 | 48.6 | | | 0 |
| 樹病低温実験室 | 1〃 | 91.5 | | | 0 |
| 昆虫飼育室 | 1〃 | 105.8 | | | 0 |
| 林木水耕実験室 | 1〃 | 26.4 | | | 0 |
| 材線虫媒介昆虫実験室 | 1〃 | 41.8 | | | 0 |
| 研究資料調整室 | 1〃 | 64.1 | | | 0 |
| 人工降雨室 | 1〃 | 19.4 | | | 0 |
| 宿舎 | 24〃 | 1,196.7 | | 2〃 | 196.6 |

(3) 組 織

(昭和53年3月31日現在)



注: { () はそれぞれの長
* は主任研究官

(4) 人のうごき

| | | | | |
|-------------------|--------|-------|-----|--|
| 52. 4. 1 付 | | | | |
| 本場総務部会計課予算係長 | 庶務課 | 三 国 | 昇 | |
| 庶務課会計係長 | 九州支場 | 妹 尾 | 博 文 | |
| 52. 5. 1 付 | | | | |
| 昆虫研究室主任研究官 | 北海道支場 | 桑 畑 | 勤 | |
| 52. 7.16 付 | | | | |
| 本場総務部用度課課長補佐 | 庶務課長 | 菅 | 利 雄 | |
| 庶務課長 | 本 場 | 渡 部 | 松 雄 | |
| 52. 9. 1 付 | | | | |
| 九州支場育林部長 | 経営研究室長 | 久 田 | 喜 二 | |
| 経営研究室長心得 | 本 場 | 黒 川 | 泰 亨 | |
| 熱帯農業センター研究第一部併任解除 | 造林研究室 | 内 村 | 悦 三 | |
| 52. 1.27 付 | | | | |
| 総理府技官(振興局)併任 | 昆虫研究室 | 古 田 | 公 人 | |
| 53. 2. 1 付 | | | | |
| 本場造林部造林科造林第2研究室長 | 造林研究室 | 藤 森 | 隆 郎 | |
| 調査室併任 | 経営研究室 | 長 谷 川 | 敬 一 | |
| 53. 2.16 付 | | | | |
| 造林研究室 | 本 場 | 河 原 | 輝 彦 | |

(5) 会議の開催

(1) 昭和52年度(第5回)林業技術推進近畿・中国ブロック協議会

- 1) この協議会は、林業技術開発推進協議会運営要領(昭和48年6月8日付け、48林野普第108号林野庁長官通達)にもとづき毎年開催されるものである。
- 2) この協議会は協議の段階別に、中央協議会、ブロック協議会および都道府県協議会の三つの協議会からなっている。
当支場は、この区分の中の近畿・中国ブロック協議会に属している。
ブロック協議会は毎年度一回、林野庁長官が招集することとなっており、当支場長は当ブロック協議会の運営を総括し、また庶務は当支場で処理している。
- 3) 52年度の近畿・中国ブロック協議会の概要は次の通りであった。
昭和52年10月5日林業試験場関西支場会議室を会場として開催した。
出席者は近畿・中国ブロックに含まれる2府12県の林務部局行政担当者および林業試験指導機関の長、林野庁研究普及課課長補佐(研究班担当)および係官、大阪営林局からは国有林野事業における技術開発体制を整備強化するため、同年9月新に設けられた。企画官3名、また関西林木育種場、同山陰

支場長、学識経験者として京都大学農学部の赤井名誉教授と森林経営研究所長梅原博氏が参加された。

なお、林業試験場から調査部長が、当支場からは支場長、育林部長、保護部長、経営、土じょう、樹病の各研究室長、調査室長外係官が出席した。

会議は、研究普及課課長補佐および林業試験場調査部長のあいさつ、研究普及課係官による経営説明のあと、支場長の司会により、各府県から提案された課題を中心に協議が行われた。

提案された課題数は24であって年々減少をしているが、これは課題数を減らして内容の充実した協議を行うため林野庁が指導を行なったためである。

討議は下記の4区分にまとめて行われた。

- I. 育林に関する課題
- II. 保護に関する課題
- III. 特産に関する課題
- IV. その他の課題

提案の各機関より趣旨説明があり、出席者より意見がのべられ、「協議事案の処理」要領に従ってそれぞれの課題の処理についてのランク付けを行なった。

なお、協議内容は、「林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会議事録要旨」としてとりまとめ、53年1月林野庁へ提出すると共に関係機関に配布した。

(2) 関西地区林業試験研究機関連絡協議会とその研究活動について

- 1) 本協議会は、当支場管内および四国支場管内の2府16県の公立の林業に関する試験研究機関の長および林業試験場関西支場長、同四国支場長、関西林木育種場長、同山陰、四国両支場長を会員として構成し、その目的とするところは、この地区内における林業試験研究機関相互の連けい、林業技術の向上、ならびにその普及、発達をはかることである。そして、本協議会はこの目的を達成するため次に掲げる事業を行なっている。

1. 総会の開催
2. 共同研究の推進
3. 研修会および研究発表会の開催
4. 林業技術開発推進協議会との連絡
5. その他本会の目的達成のために必要な事業

以上事業のうち、昭和52年度は下記の事業が行われた。

2) 第30回総会

昭和52年9月27日三重県林業技術センター(三重県一志郡白山町)において第30回総会が開催された。

会議では、まず過去1ヶ年間の各部会の共同研究の経過と今後の計画について協議が行われた。ついで、林野庁研究普及課研究班担当課長補佐から林業試験に関する中央情勢について詳細説明があり、これについて各会員より活発な意見と質問が出された。

また、各府県の主要研究課題について説明があり、これについても意見の交換がなされた。

3) 各部会活動の状況

当協議会には10の部会があり、それぞれ活発な部会活動を行なっている。

この部会活動には当支場研究員も参加し、共同研究の実施、研究情報の交換および助言など、公立研究機関との研究上の緊密な連絡を行なった。

なお、大阪営林局、高知営林局あるいは管外の公立林試が参加している部会もある。

昭和52年度中に行われた部会の開催は次の通りである。

| 部 会 名 (共同研究班) | 開 催 月 日 | 開 催 場 所 | 当 番 機 関 |
|--------------------|---------------|-----------------|---------|
| 特 産 (シイタケ) | 52. 9. 6 ~ 8 | 三 次 市 | 広 島 林 試 |
| 林 業 機 械 | 52.10.12 ~ 14 | 京 都 市 | 京 都 林 試 |
| 樹 木 公 害 | 52.10.27 ~ 28 | 倉 敷 市 | 岡 山 林 試 |
| 育 苗 | 52.11.10 ~ 11 | 松 山 市 | 愛 媛 林 試 |
| 立 地 | 52.11. 1 ~ 11 | 鶴 来 町 (石川県) | 石 川 林 試 |
| 経 営 | 52.11.16 ~ 17 | 松 江 市 | 島 根 林 試 |
| 育 種 | 52.12.15 ~ 16 | 徳 島 市 | 徳 島 林 試 |
| 特 産 (ク リ) | 53.11.24 ~ 25 | 福 山 市 | 広 島 林 試 |
| 更 新 } 合 同 保 育 } | 53. 1.25 ~ 27 | 京 都 市 | 関 西 支 場 |
| 特 産 (マツタケ) | 53. 2. 7 ~ 8 | 白 浜 町 (和歌山県) | 和歌山センター |
| 保 護 | 53. 2. 7 ~ 8 | 白 浜 町 (和歌山県) | 和歌山センター |

(3) 業務報告会の開催について

昭和51年度業務報告会を51年5月24~28日の4日間にわたり開催し、各研究室および試験地毎に報告を行なった。

また、各研究室が共同で研究に当たっている3課題については育林、保護両部長が報告を行なった。

(6) 受託研究, 調査, 指導

| 用 務 | 委 託 者 | 用 務 先 | 実施期日 | 出 張 者 | |
|--------------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|------------|----------------|
| | | | | 研 究 室 | 氏 名 |
| 「苗畑土壌と施肥について」講習 | 石川県山林種苗協 同組合 | 石川県小 松市木場 町 | 52. 8.12 ～ 8.13 | 土じょう | 佐藤 俊 |
| 「森林造成維持費用分担推進調査」 に関する研究会議出席 | 水利科学研究所 | 徳島県徳 島市 | 52. 8.26 ～ 8.27 | 防 災 | 岸岡 孝 |
| 植生及び土壌調査 | 日本林業技術協会 | 和歌山県 那賀郡岩 出 | 52. 9.26 ～ 9.29 | 土じょう | 吉岡 二郎 |
| 推茸の経営改善について講習 | 山口県農林部長 | 山口県山 口市 | 52. 9.26 ～ 9.27 | 経 営 | 黒川 泰亨 |
| アカマツ人工林の施業のあり方につ いて現地指導 | 森林開発公団岡山 支所 | 鳥取県東 伯郡関金 町 | 52. 9.27 ～ 9.29 | 造 林 | 藤森 隆郎 |
| 間伐並びに枝打ちの進め方について 指導 | 和歌山県林業セン ター | 和歌山県 西牟婁郡 上富田町 | 52.10. 6 ～10. 7 | 造 林 | 藤森 隆郎 |
| 「竹材生産技術研修会」講師 | 三重県林業技術セ ンター | 三重県一 志郡白山 町 | 52.11. 6 ～11. 7 | 造 林 | 鈴木 健敬 |
| 森林の造成維持費用分担関係調査 | 水利科学研究所 | 徳島県徳 島市 | 52.11.15 ～11.17 | 防 災 | 阿部 敏雄 |
| 「枝打ちについて」研修会講師 | 森林開発公団岡山 支所 | 岡山県岡 山市 | 53. 1.10 ～ 1.11 | 造 林 | 藤森 隆郎 |
| 植生及び土壌調査 | 日本林業技術協会 | 広島県賀 茂郡黒瀬 町 | 53. 1.23 ～ 2.28 | 土じょう | 吉岡 二郎 |
| クワ病虫害の防除対策立案 | 林業薬剤協会 | 広島県福 山市 | 53. 1.23 ～ 1.25 | 樹 病 昆 虫 | 紺谷 修治 小林 一三 |

(7) 当 場 職 員 研 修

| 氏 名 | 研 修 先 | 研 修 期 間 | 研 修 内 容 |
|---------|-----------|----------------|----------------------|
| 福 田 智 数 | 奈良県立青年の家 | 52. 5. 9～ 5.12 | 昭和52年度中級・初級試験採用者研修 |
| 渡 部 松 雄 | 大阪共済会館 | 53. 2. 6～ 2. 8 | 昭和52年度地域管理事務担当者研修 |
| 板 野 和 男 | 農 林 研 修 所 | 53. 2.19～ 3. 4 | 昭和52年度初級事務職員研修 (第2班) |

(8) 技術研修受入れ

| 氏名 | 所属機関 | 研修期間 | 研修内容 |
|-------|-------------|-------------------|----------------------|
| 井戸 泉 | 愛知県緑化センター | 52. 6. 1~ 8. 31 | 病害防除および鑑定診断（緑化木について） |
| 奥田 清貴 | 三重県林業技術センター | 52. 10. 17~11. 16 | 森林害虫一般について |
| 松尾 正史 | 山口県林業指導センター | 52. 10. 1~12. 28 | 土壌肥料および植物養分分析に関する研究 |

(9) 海外出張

| 氏名 | 出張先 | 出張期間 | 研究課題 |
|-------|-------|------------------------|---------------------|
| 内村 悦三 | フィリピン | 52. 2. 6~ 8. 14 | フィリピンにおける竹栽培に関する研修 |
| 古田 公人 | スイス | 53. 2. 1 ~54. 1. 31 | 生態学的森林害虫防除の基礎的研究のため |

(10) 見学者

(52. 4. 1~53. 3. 31)

| 区分 | 件数 | 人数 | 備考 |
|----|-----|-----|--------------------------|
| 国 | 69 | 191 | |
| 府 | 49 | 199 | |
| 学 | 大学 | 2 | 31 |
| | その他 | 4 | 380 |
| 団 | 25 | 83 | |
| 一 | 24 | 44 | |
| 外 | 7 | 24 | 韓国・台湾・オランダ・フィリピン・コロンビア 外 |
| 計 | 180 | 952 | |

(11) 30年誌の刊行について

関西支場が昭和22年に発足してから30年を経過したのを契機に、「林業試験場関西支場三十年のあゆみ」一明日への飛躍のために一を編集発行し、関係機構ならびに関係のある方々に配付した。